北九州市立尾倉中学校　学校通信

尾倉便り

第　１２　号
平成２８年１２月２２日発行
文責：北九州市立尾倉中学校　校長　伊藤純次

二学期を終えて

校長　伊藤　純次

早いもので最も長く、最も学校行事が多く、最も学習活動にも熱の入る二学期が今日で終了します。

生徒の皆さん、この二学期はどうでしたか？全校行事では「体育大会」「尾倉中学校創立七十(周)年記念行事」「文化活動発表会」「生徒会役員選挙」。学年行事では二年生「農村宿泊体験学習」。一年生の「八幡東区連合音楽会」幼稚園児との「合同芋掘り」。そして恒例、三年の合格祈願である一・二年生による「餅つき大会」等が行われました。一方で皆さんの学習活動(授業)を充実させるため、私たち教師はたくさんの研修を行いました。教師が互いの授業を参観しあい、何度も研究協議を行いました。

どの行事、どの授業においても生徒諸君は先生、家族、尾倉地区の方々からの支援と協力を受けながら「一生懸命」取組み、多くのことを学びました。そして先生、家族、地域の人に喜びと感動を与えました。今日で二学期を終えますが、一年間の「まとめ」と「締めくくり」の学期である三学期が始まる前に、これまで学んだ事をもう一度、思い出しましょう。そして

☆三年生は尾倉中卒業後の進路実現の為のラストスパートを！

☆一・二年生は上級生になる心構えを！

これらのことをしっかりと心に持ち、短いけれど、とても大切な、三学期を過ごしてください。

これまで尾倉中は生徒と先生が保護者・地域の方々の応援のもと、素晴らしい学校を築くため頑張ってきました。これからも保護者や地域の皆さまに尾倉中に対するご支援をお願いし、二学期の終わりの言葉にさせて頂きます。

生徒の皆さん。一月十日の三学期始業式には元気な顔で登校し、新たな年のスタートを切りましょう。

一月の主な行事

1日(日)	元　旦
2日(月)	
3日(火)	
4日(水)	仕事始め
5日(木)	推薦希望者指導日
6日(金)	同　上
7日(土)	
8日(日)	
9日(月)	
10日(火)	三学期始業式
11日(水)	給食開始 学級組織決め
12日(木)	1・2年北九学調テ 3年学力診断テ
13日(金)	生徒会専門委員会
14日(土)	
15日(日)	
16日(月)	ＡＬＴ来校(27日迄)
17日(火)	
18日(水)	
19日(木)	
20日(金)	職員会議
21日(土)	高専推薦入試
22日(日)	
23日(月)	
24日(火)	私立高推薦入試
25日(水)	
26日(木)	私立高推薦入試発表
27日(金)	筑豊地区私立事前指導
28日(土)	
29日(日)	
30日(月)	筑豊地区私立一般入試 北九地区私立事前指導
31日(火)	北九地区私立一般入試 ※3年3校時下校・給食無
2／1(水)	同　上 ※3年3校時下校・給食無
／2(木)	同　上 ※3年3校時下校・給食無
／3(金)	小学生中学見学会

◎「スクカン」とはスクールカウンセラーのことをさす。
◎各行事に関する詳細は別途プリントにて連絡する。

１・２年生『餅つき大会』

本校恒例の１・２年生による『３年生合格祈願餅つき大会』が１２月９日ＰＴＡ主催により行われました。

１・２年生が「３年生のために餅をつく」という尾倉中ならではの行事です。１年生は餅つきが初めての人もいましたが、次第に慣れ、立派な餅がつきあがりました。２年生は昨年の経験を生かし、３年生の先輩たちに配る「紅白餅」をついてくれました。餅つき大会には学校後援会及び地域の方々、かぐめよし少年自然の家所員の方々のご協力をいただいています。みんなが尾倉中学校３年生全員の合格を祈っています！

✡三年へ送る言葉✡

『三年生の皆さんへ』生徒会会長　二年：小西　壮太

今回、三年生の皆さんが志望校に合格できるようにと願いを込めて餅をつきました。お餅には私たち下級生の他に手伝って下さった先生やＰＴＡ、地域、少年自然の家所員の方々の気持ちもこもっています。これからも、合格できるように勉強を頑張って下さい。

世界のことを知ろう～国際理解教育

国際理解教育を１２月７日に行いました。講師は九州海外協力協会河野奈津子さんにお願いしました。３年生は「貿易ゲーム」で国と国との関係を体験しました。自分の国が真に豊かになるためには、食料・住居・水・医療・教育・軍のどれを確保するか、どれに重点を置いて国づくりをするか考えました。また、他国との貿易を通して、自分の国だけでなく他国も一緒に栄えることや他国に援助する大切さを学びました。１・２年生は「世界がもし１００人の村だったら」を通して、世界の中には学校で学べない子ども達がたくさんいること、それが生活の中でどんな困ったことになるのかを体験しました。また、世界では餓えや病気で苦しんでいる人々がたくさんいるのに、日本では大量の食料が廃棄されている現実を知り、生徒は自らの生活を振り返ったり、世界のために何ができるか考えたりしていました。